

令和8年度北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会 次第

日時 令和8年8月21日（金）午後2時～

場所 加東市役所 2階 201会議室・3階 301会議室

1 開 会

2 委員等出席者の紹介

3 座長及び副座長の選出

4 議 事

(1) 報告事項

ア 定住自立圏構想について【資料1】

イ 北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会について【資料2】

(2) 協議事項

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの進捗・達成状況について【資料3】【参考資料】

※分野ごとに2部会に分かれての実施

5 その他

6 閉 会

定住自立圏構想について

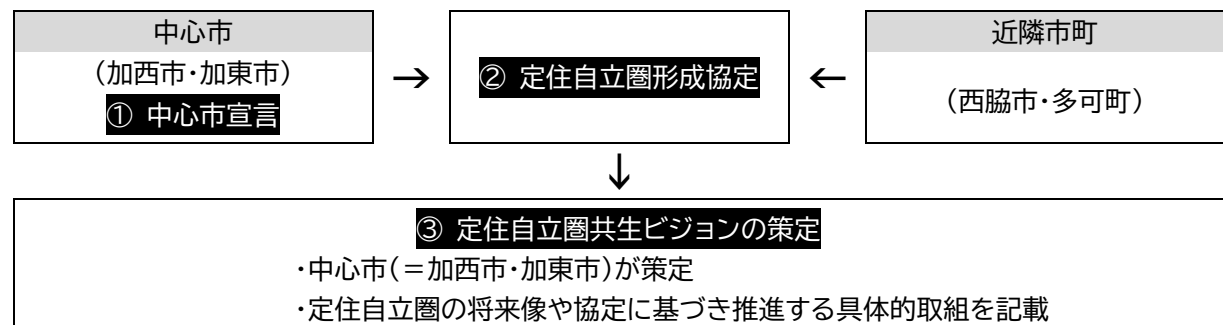
定住自立圏構想とは

中心市と近隣市町村※が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保する「定住自立圏構想」を推進し、地方圏における定住の受け皿を形成する。

※近隣市町村…中心市と近接し、経済、社会文化又は住民生活等において密接な関係を有する市町

北播磨広域定住自立圏に係る取組状況

平成 27 年	3 月 2 日	加西市及び加東市による中心市宣言 ※宣言中心市(加東市及び加西市)と近隣市町において、定住自立圏形成に関する連携項目等についての協議を開始
	10 月 5 日	北播磨広域定住自立圏形成協定調印式〔加東市滝野図書館〕
	11 月 30 日	北播磨広域定住自立圏共生ビジョン(平成 27 年度～平成 31 年度)策定
令和 2 年	3 月 31 日	第 2 次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン(令和 2 年度～令和 6 年度)策定
令和 7 年	3 月 31 日	第 3 次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン(令和 7 年度～令和 11 年度)策定



北播磨広域定住自立圏のイメージ

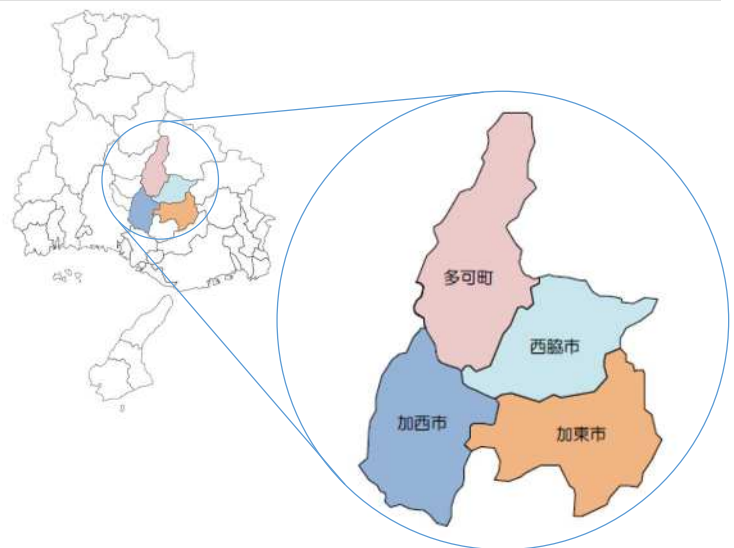
兵庫県

圏域の人口 141,279 人

圏域の面積 625.40km²

資料:人口(R2 国勢調査)

面積(R6 兵庫県市町要覧)



北播磨広域定住自立圏の意義

- ① 広域連携だからこそ実現できる成果を創出すること
- ② 住民や関係者が「住みやすさ」を実感できる地域をつくること
- ③ 連携の仕組みを強化し、圏域としての組織力を向上させること

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの取組内容の体系図

分野(3)	政策(11)	施策(17)	事業(22)
生活機能の強化	医療	医療体制の確保	01 病病・病診連携事業
			02 播磨内陸医務事業組合運営事業
		医療連携の強化	03 地域医療連携室連携強化事業
	福祉	子育て支援の充実	04 児童虐待防止事業
			05 子育て支援事業
		権利擁護・成年後見事務の効率化及び体制強化	06 権利擁護・成年後見利用促進連携事業
	教育	文化・スポーツの振興	07 図書館相互利用推進事業
			08 文化・スポーツ交流活動及び施設相互利用推進事業
		質の高い教育環境の整備	09 兵庫教育大学との連携講座事業
	産業振興	創業支援の推進	10 創業支援連携事業
	防災	広域防災体制の整備強化	11 広域防災対応能力強化事業
			12 北はりま消防組合運営事業
	生活	多様性理解の啓発	13 性的思考・ジェンダーアイデンティティの多様性啓発推進事業
		住民相談窓口の相互利用等	14 消費者行政推進事業
		健康事業等の広域連携	15 「健幸」推進事業
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	地域公共交通の広域連携	16 公共交通広域連携調査・研究事業
	ICTインフラの整備	自治体情報システムの効率化	17 ICT 活用調査・研究事業
	交通インフラの整備	広域幹線道路の整備促進	18 広域幹線道路整備推進事業
	地域内外の住民との交流・移住促進	観光資源の開発	19 地域観光情報発信・誘客活動事業
		移住定住の促進	20 移住定住促進事業
圏域マネジメント能力の強化	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	人材の育成及び確保	21 人材育成事業
			22 人事交流事業

北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

制定 平成27年8月3日

改正 令和6年10月9日

(設置)

第1条 加西市及び加東市は、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6に規定する定住自立圏共生ビジョン（以下「共生ビジョン」という。）の策定等について協議するため、北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 共生ビジョンの策定又は変更に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、定住自立圏構想に関すること。

(組織)

第3条 懇談会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、加西市長及び加東市長（以下「両市長」という。）が選任する。

- (1) 定住自立圏形成協定に掲げた政策分野の関係者
- (2) 定住自立圏構想について識見を有する者
- (3) その他両市長が特に必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長及び副座長)

第5条 懇談会に、座長及び副座長をそれぞれ1人置く。

2 座長は委員の互選により定め、副座長は座長が指名する委員をもって充てる。

3 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議（以下「会議」という。）は、座長が招集する。ただし、座長が定まっていないときは、両市長が招集する。

2 会議の議長は、座長がこれに当たる。

3 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 4 懇談会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(会議の書面開催)

第7条 座長は、次のいずれかに該当する場合に限り、書面で委員の意見を聴き、会議の議決に代えることができる。

- (1) 地震、暴風雨、大雪などの自然災害、感染症のまん延等やむを得ない状況により会議を開催することが困難なとき
 - (2) その他、座長が軽微な議事又は緊急の決議を要すると判断したとき
- 2 委員は、回答期日内の書面による回答をもって、会議に出席したものとし、委員の過半数の出席をもって書面により会議が開催されたものとみなす。
 - 3 会議後、座長は協議結果を全委員に報告するものとする。

(部会)

第8条 懇談会は、その所掌事務を分掌させるため、必要に応じ、部会を置くことができる。

- 2 部会の運営に関し必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

(庶務)

第9条 懇談会の庶務は、加西市及び加東市の定住自立圏構想担当課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成27年10月5日から施行する。

(任期の特例)

- 2 この要綱の施行の日以後初めて選任する委員の任期は、第4条第1項本文の規定にかかわらず、平成29年3月31日までとする。

附 則

この要綱は、令和6年10月9日から施行する。

北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会の運営について

平成27年10月6日決定

1 会議の公開（会議の傍聴）について

- (1) 会議は、原則公開とする。ただし、座長が公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると認めたときは、非公開とすることができる。
- (2) 会議の公開は、傍聴を希望するものに当該会議の傍聴を認めることにより行う。
- (3) 傍聴人の定員は、会議の会場の規模に応じて決定する。
- (4) 前2号に掲げるもののほか、会議の傍聴に関して必要となる手続は、加西市又は加東市の規程の規定に基づいて行う。

2 議事の表決等について

- (1) 議事等に関して表決が必要な場合は、挙手により行う。
- (2) 会議において意見等の発言を行う場合は、挙手の上行う。

3 会議録の作成について

- (1) 会議録は、要点筆記で作成する。
- (2) 会議録の署名は、議長（座長）及び署名人（副座長）が行う。

4 会議録等の公開について

- (1) 会議録は、市のホームページで公開する。ただし、委員の氏名など発言委員（議長を除く。）を特定できる内容は、非公開とする。
- (2) 会議録と併せて、会議資料を公開する。
- (3) 委員名簿は、市のホームページで公開する。

5 その他

その他会議の運営に関して必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 進捗・達成状況

評価		事業数
◎	計画どおりに実施し、目標を超える成果があった。	5
○	計画どおりに実施し、ほぼ目標どおりの成果を得ることができた。	13
△	計画どおりに実施したが、目標とする成果を下回った。一部計画どおり実施できなかったが、目標とする成果を得ることができた。	4

No.	分野	政策	施策	事業名	評価
1	生活機能の強化	医療	医療体制の確保	病病・病診連携事業	◎
2				播磨内陸医務事業組合運営事業	△
3			医療連携の強化	地域医療連携室連携強化事業	○
4		福祉	子育て支援の充実	児童虐待防止事業	○
5				子育て支援事業	○
6			権利擁護・成年後見事務の効率化及び体制強化	権利擁護・成年後見利用促進連携事業	◎
7		教育	文化・スポーツの振興	図書館相互利用推進事業	◎
8				文化・スポーツ交流活動及び施設相互利用推進事業	○
9			質の高い教育環境の整備	兵庫教育大学との連携講座事業	△
10		産業振興	創業支援の推進	創業支援連携事業	△
11		防災	広域防災体制の整備強化	広域防災対応能力強化事業	○
12				北はりま消防組合運営事業	○
13		生活	多様性理解の啓発	性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性啓発推進事業	○
14			住民相談窓口の相互利用等	消費者行政推進事業	○
15			健康事業等の広域連携	「健幸」推進事業	○
16	結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	地域公共交通の広域連携	公共交通広域連携調査・研究事業	○
17		ICTインフラの整備	自治体情報システムの効率化	ICT活用調査・研究事業	○
18		交通インフラの整備	広域幹線道路の整備促進	広域幹線道路整備推進事業	○
19		地域内外の住民との交流・移住促進	観光資源の開発	地域観光情報発信・誘客活動事業	○
20			移住定住の促進	移住定住促進事業	◎
21	圏域マネジメント能力の強化	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	人材の育成及び確保	人材育成事業	△
22				人事交流事業	◎

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート（令和7年度評価）

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業目的	広域連携の枠組みの中で、医療体制の維持・充実を図ることにより、圏域住民が身近な所で安心して医療を受けられる体制づくりを目指す。		
事業概要	医師の相互応援や病院の検査機器による精密検査の診療所への開放、診療所等との連携による地域医療を担う医師の育成など、病院間の診療連携や病院と診療所との連携を推進するとともに、地域医療普及啓発事業（病院フェスタ）や地域医療体制推進事業（住民フォーラム）等を開催することにより、限られた医療資源を活用しながら、圏域住民が安心して住み続けられる医療体制の維持・充実を図る。		
事業	1 病病・病診連携事業	掲載ページ	31ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
医師の年間相互応援件数 【単年度】	目標		700	700	700	700	700	件
	実績	811	690					
	達成率		98.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標②	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
病院フェスタや住民フォーラム等の年間参加人数 【単年度】	目標		360	370	380	390	400	人
	実績	350	481					
	達成率		133.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			◎					
評価基準		◎:目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○:ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △:目標を下回った（達成率84.9%以下） ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	3,644	5,365	11,376	3,552	23,937
	内訳	医師の年間相互応援に係る費用				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	医師の年間相互応援件数は、昨年度より若干増加したが目標値を下回った。フェスタやフォーラムの参加人数については、西脇市や加西市で市民医療フォーラム、院内コンサートなどが実施され合計481人の参加があり目標を大きく上回った。
	連携効果	（観点①②より）医療体制維持について、それぞれが不足している診療科の医師派遣を相互に行うことで、地域で安心して医療が受けられる体制が継続できた。
	次年度への課題と予定	引き続き広域連携の枠組みの中で、医師不足への対応を実施していく予定。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業目的	圏域内の公立病院等に勤務する看護師の安定確保に寄与する。		
事業概要	播磨内陸医務事業組合立播磨看護専門学校の施設、設備等の維持保全に努めるとともに、講師や実習施設の確保に協力するなど、教育環境の充実を図ることで優秀な看護師の育成を推進する。あわせて、播磨内陸医務事業組合立播磨看護専門学校の今後の運営のあり方について検討・協議する。		
事業	2 播磨内陸医務事業組合運営事業	掲載ページ	32ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
圏域内病院年間就職率 【単年度】	目標		54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	%
	実績	51.5	34.3					
	達成率		63.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			△					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	33,742	32,396	31,105	18,393	115,636
	内訳	看護学校の運営経費(議会費、看護学校費、財政基金費等)				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	播磨内陸医務事業組合の運営経費を負担するとともに、市立病院の医師、看護師等の講師派遣、看護学生の実習(母性看護、成人実習)受入れ、「地域看護」授業の講師、学生確保のための広報等に協力した。
	連携効果	(観点②より)負担金を増額することで学校のトイレやエアコンを改修し、学生の学習環境が整えられた。
	次年度への課題と予定	施設の老朽化に対し、計画的な改修が必要である。また、受験生及び入学生が減少しており、安定的な看護師確保のため、受験体制の見直しや学校PRを強化し、学生確保に努める。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療連携の強化
事業目的	関係機関における機能分化及び連携強化を図り、効率的かつ継続的に圏域内の医療・介護ニーズに応じた質の高い医療体制を構築することで、在宅療養・医療の推進を目指す。		
事業概要	圏域内の医療ニーズに即応し、効率的かつ継続的に質の高い医療を提供するため、北播磨病院連携会議を定期開催し、情報交換や協議、研修等を行う。連携強化項目として、訪問看護の拡大推進や各市町の高齢者福祉施設等との連携による圏域市町の境界区域への対応を含めた在宅療養移行支援の推進を図る。また、既存の地域医療連携システム北はりま絆ネットの活用及び普及を図るとともに、北播磨地域連携パス（脳卒中・大腿骨近位部骨折）の積極的な運用を継続する。		
事業	3 地域医療連携室連携強化事業		掲載ページ 33ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
北はりま絆ネットの運用実績 【累計】	目標		7,600	8,500	9,400	10,300	11,200	件
	実績	5,825	7,650					
	達成率		100.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○:ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △:目標を下回った（達成率84.9%以下） ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳					

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	具体的には、圏域内各病院の地域医療連携室の担当者が一堂に会する「北播磨病院連携会」を年2回定期開催した。また、切れ目のない医療連携の軸となる「北播磨地域連携パス（脳卒中・大腿骨近位部骨折）」の運用・継続に向け、年3回の会議を実施し、運用の課題共有やブラッシュアップを図った。地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の活用・普及活動にも継続して取り組んだ。
	連携効果	（観点①より） 年2回の会議による病院連携空間の顔の見える関係で突発的な課題も直接解決でき、 （観点②より） 絆ネットによる事前データ確認で患者の移動負担軽減と受入側の先回り準備が可能となり、 （観点③より） 年3回の連携パス会議の継続により前年以上に実務レベルで機能・発展している。
	次年度への課題と予定	確立された病院間の「顔の見える関係」をベースに、年3回の連携パス会議を継続して医療体制の質を維持するとともに、「北はりま絆ネット」のさらなる普及を図り、よりスムーズな情報共有環境を構築する。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	子育て支援の充実
事業目的	児童虐待の防止に向けた支援体制を強化することで、こどもの健全な育成を図る。		
事業概要	児童との関わり方や子育ての悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、個別のロールプレイ等を内容としたペアレント・トレーニング等、各市町で相互利用が可能な児童虐待防止事業を実施する。		
事業	4 児童虐待防止事業	掲載ページ	34ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R6)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
圏域内で相互利用できる児童虐待防止事業の実施件数 【単年度】	目標		1	1	2	3	4	件
	実績	1	1					
	達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	753	0	0	753
	内訳	事業実施に係る、講師謝礼、託児謝礼、チラシ印刷費、電話代、保険料、施設使用料、研修負担金等。				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	加東市において、他市町からの参加が可能なペアレント・トレーニングとして「MY TREEペアレンツ・プログラム」を実施した(参加者6名)。連携市町のこども園や小・中学校にチラシの配布、対象者への受講の勧奨を行い、受講の受付を優先的に実施した。
	連携効果	(観点①より)連携市町からの参加はなかったが、広域的に受講者に周知することができている。
	次年度への課題と予定	加東市以外の連携市町で相互利用が可能なペアレント・トレーニング等の虐待防止事業の実施に向けて、引き続き調整を行う。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート（令和7年度評価）

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	子育て支援の充実
事業目的	圏域内の子育て支援者の資質の向上及びネットワークの拡充により、保護者をはじめとする子育て当事者が安心して、充実感を持ちながら子育てできる環境を整備する。		
事業概要	圏域内にある児童館等で従事する子育て支援者の資質の向上及びネットワークの拡充を図るため、北播磨地区子育て支援者連絡会（研修会）を実施する。また、子育て当事者同士のつながりや家庭の子育て力の向上を図るため、子育て当事者が集う場（子育てフェスティバル）を実施する。		
事業	5 子育て支援事業	掲載ページ	35ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
北播磨地区子育て支援者連絡会（研修会）の開催回数 【単年度】	目標		9	9	9	9	9	回
	実績	9	9					
	達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
子育てフェスティバルの参加者数 【単年度】	目標		100	100	100	100	100	人
	実績	92	107					
	達成率		107.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎：目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○：ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △：目標を下回った（達成率84.9%以下） ×：未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	15	185	30	10	240
	内訳	北播磨子育て支援者研修会講師謝金				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	北播磨子育て支援者連絡会（研修会）を9回開催し、各市町の取組み状況やノウハウを共有することで地域間で連携した子育て支援体制の強化を図ることができた。
	連携効果	（観点①②より）各市町単独では実施困難な研修会であっても相互参加することで、様々な研修会に参加することができ、専門性の向上の機会となった。また、日頃子育て支援者が現場で感じている疑問や悩みを出し合い、お互いに解決策を模索することで子育て支援者の資質向上に繋がった。
	次年度への課題と予定	今後も継続して子育て支援者間の情報共有・連携を図っていきながら、子育てにおけるさまざまな課題解決を目指した研修会を開催していく。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	権利擁護・成年後見事務の効率化及び体制強化
事業目的	権利擁護・成年後見事務に関する連携を強化して圏域住民の円滑な制度活用を促進し、安心した生活の確保につなげる。		
事業概要	中核機関や成年後見支援センター（2次相談窓口）の広域設置による専門的な支援や相互の情報連携により、権利擁護・成年後見制度の利用を促進する。		
事業	6 権利擁護・成年後見利用促進連携事業	掲載ページ	36ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
成年後見支援センターにおける相談件数 【単年度】	目標		110	120	140	150	170	件
	実績	-	240					
	達成率		218.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			◎					
評価基準		◎:目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○:ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △:目標を下回った（達成率84.9%以下） ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	4,548	4,366	4,114	2,468	15,496
	内訳	北はりま成年後見支援業務委託料（加西市、加東市、多可町） 西脇市成年後見支援センター運営業務委託料				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	HP開設やパンフレット作成等による成年後見支援センターの周知や弁護士等による市町巡回相談会を実施した結果、目標を上回る相談件数となった。また、成年後見制度のしおりの作成・配布、制度説明会（住民向けセミナー）の開催等により、成年後見制度の利用促進、普及啓発等に取り組んだ。
	連携効果	（観点①②より）後見人を選任すべき個々の事情は多岐にわたり、その事情に応じた要否判断及び対応が求められる。相談情報をセンターに集約したことで、事例の共有とノウハウの蓄積が進み、圏域における成年後見事務の効率化につながった。
	次年度への課題と予定	定住自立圏域内において、後見人となりうる資格職（弁護士、司法書士、社会福祉士）が少ない状況から、法人後見人や市民後見人を育成していく必要があり、研修等の機会の確保が必要。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育	施策	文化・スポーツの振興
事業目的	利用者の利便性向上を図ることにより、圏域内各図書館の利用を促進する。		
事業概要	資料の充実や環境整備を行い、図書等の相互貸借及び館外返却サービスを運用する。		
事業	7 図書館相互利用推進事業	掲載ページ	37ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
図書等の館外返却サービスによる年間預かり冊数 【単年度】	目標		12,700	12,900	13,100	13,300	13,500	冊
	実績	12,566	14,666					
	達成率		115.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			◎					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	24	90	24	24	162
	内訳	資料配送業務人材派遣委託料 82,362円 残りは、燃料費(ガソリン代)				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	一部の市では減少傾向にあったものの、圏域全体としては、目標が達成できた。
	連携効果	(観点②より)事業の周知が進み、利用ニーズが安定してきている。さらに新館(多可町図書館)が開館したことにより圏域内での相互利用が活性化してきている。
	次年度への課題と予定	引き続き、機会をとらえ積極的なPRに努め、近隣図書館との連携を通じて、利用促進を図る。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育	施策	文化・スポーツの振興
事業目的	圏域内の文化・スポーツ事業の推進等により、圏域全体の文化・スポーツ活動の振興や質的向上、圏域住民の相互交流等を促進し、地域の活性化を目指す。		
事業概要	圏域市町の文化・スポーツ施設の相互利用を促進するとともに、スポーツ推進委員と連携しながら、圏域住民を対象とした文化・スポーツ事業を実施することで、圏域住民の交流促進や文化・スポーツ活動に対する意欲の向上、健康増進を図る。		
事業	8 文化・スポーツ交流活動及び施設相互利用推進事業	掲載ページ	38ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
各種大会・イベントの年間開催回数	目標		3	3	3	3	3	回
	実績	3	3					
	【単年度】達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
グラウンド・ゴルフ大会の参加者数	目標		96	96	96	96	96	人
	実績	96	96					
	【単年度】達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	170	170	170	85	595
	内訳	テニス教室:304,140円 第1回ニュースポーツフェスティバル:126,000円 第9回グラウンド・ゴルフ大会:166,000円 計596,140円				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	担当者会議を年3回開催し、圏域連携の調整を図った。連携事業として、テニス教室、グラウンド・ゴルフ大会を実施したほか、新たな取組として圏域住民を対象とした「ニュースポーツフェスティバル」を企画・実施した。
	連携効果	(観点①より)各市町の独自種目やノウハウを相互活用することで、単独実施では困難な専門性の高い体験を実現した。特にニュースポーツにおいて他市独自の種目を取り入れたことで、地域を超えたプログラムの提供が可能となり、広域連携による事業の質の向上と効率化を図ることができた。
	次年度への課題と予定	新規イベントの周知強化と参加者の裾野拡大を図る。R8年度は既存事業の継続に加え、連携の強みを活かしたプログラムの改善に取り組み、圏域住民の交流促進をより一層推進する。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート（令和7年度評価）

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育	施策	質の高い教育環境の整備
事業目的	教員の資質向上を図り、より質の高い教育環境の構築につなげる。		
事業概要	圏域内の教員の資質向上を図るため、兵庫教育大学と連携し、講座や研修会等を開催する。		
事業	9 兵庫教育大学との連携講座事業	掲載ページ	39ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
合同講座・研修会の参加人数 【単年度】	目標		40	40	40	40	40	人
	実績	43	18					
	達成率		45.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
受講者による講座の評価点 【単年度】	目標		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	点
	実績	—	4.61					
	達成率		115.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			△					
評価基準		◎：目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○：ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △：目標を下回った（達成率84.9%以下） ×：未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳	特記事項なし				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	各市町で若手教員が増えている状況から、学級づくりや学級経営をテーマに「教師力向上講座」を実施（8/6）した。しかし、同日に加東市および西脇市で教職員を対象とした教育講演会等があり、参加者は18名（加西市6名、多可町12名）に留まった。
	連携効果	（観点①より）各参加者が、他市町の教員との交流を通して、同じ圏域内でも学校によって実態が違うこと、また自分にはない多様な指導方法について知る機会となった。また、2学期以降の学級経営において、新しい指導法を取り入れる意欲づけにつながった。
	次年度への課題と予定	圏域内の多くの教職員の参加がしやすい夏季休業中での実施が望ましいと考えるが、連携市町においても研修等の行事が開催される機会でもあることから、可能な限り事前に担当課間で日程調整をすることで参加者の確保に努めたい。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート（令和7年度評価）

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	創業支援の推進
事業目的	効果的な創業支援により圏域の創業希望者のネットワークを形成するとともに、創業や創業意欲の向上につなげる。		
事業概要	圏域市町の連携により創業セミナーを共同で開催する。		
事業	10 創業支援連携事業	掲載ページ	40ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
年間創業件数 【単年度】	目標		46	47	48	49	50	件
	実績	38	43					
	達成率		93.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
創業セミナー年間参加人数 【単年度】	目標		45	45	45	45	45	人
	実績	10	22					
	達成率		48.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			△					
評価基準		◎：目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○：ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △：目標を下回った（達成率84.9%以下） ×：未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	53	51	49	29	182
	内訳	創業セミナー開催費用：講師等謝礼、食糧費、印刷製本費、施設使用料				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	年度内に異なるテーマで3回のセミナーを開催し、创业者のニーズに合わせた支援を実施した。また、翌年度の事業の参考としてアンケートを実施し、創業に対する課題や支援ニーズを把握した。 ①令和7年11月23日実施 テーマ：A I時代の新しいひらめき★目指せゼロイチ創業 ②令和7年12月21日実施 テーマ：「好き」を仕事にするための開業のヒント ③令和8年2月2日実施 テーマ：経営者のための終活セミナー
	連携効果	（観点①より）圏域市町で連携の上、創業セミナーを実施し、22件の創業を目指す方や創業間もない方の支援を行った。
	次年度への課題と予定	実施したセミナーによって参加者が少ないセミナーが見受けられた。創業塾等で創業を考えている方のニーズを探り、テーマの選定を行うことや周知活動にSNSを活用する等の新たな手法を取り入れる必要がある。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	防災	施策	広域防災体制の整備強化
事業目的	圏域市町の連携強化により、圏域全体の防災・減災力の向上を図る。		
事業概要	大規模災害の発生時において、迅速かつ確かな災害対応を行うための情報共有や応援体制の確立など、圏域市町の連携強化に取り組むとともに、防災知識の普及啓発などを通じて、圏域の防災・減災力の向上を図る。		
事業	11 広域防災対応能力強化事業		掲載ページ 41ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
図上訓練の年間実施回数 【単年度】	目標		10	10	10	10	10	回
	実績	8	11					
	達成率		110.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
圏域市町職員における家屋 被害認定土数 【累計】	目標		237	243	249	255	261	人
	実績	231	247					
	達成率		104.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○:ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △:目標を下回った（達成率84.9%以下） ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	210	267	0	118	595
	内訳	学校・自主防災組織訓練費：230千円 避難所運営図上訓練費：37千円 講師謝金 37千円 防災研修会（2回） 印刷製本 81千円 マイ避難カード作成用冊子				

事業の取組状況		
連携効果の 振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	播磨地域防災担当事務主管者会議の場も活用しながら、関係性を構築し、必要に応じて、連絡を取り合うことで、情報共有を行い、連携の強化を図った。
	連携効果	（観点②より）取組等について情報共有・意見交換等を行うことで、それぞれの市町における対応に活かすことができた。
	次年度への 課題と予定	広域定住自立圏内での合同訓練やイベントの実施について検討していく。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	防災	施策	広域防災体制の整備強化
事業目的	消防・救急業務を効率的に実施することにより、圏域市町の負担を合理化するとともに、広域化による体制の強化及び均一的な消防・救急サービスの提供、サービスの質の更なる向上を図る。		
事業概要	広域のメリットを活かした、消防力の集中配備・投入などの圏域市町の消防力が効率的に運用できる体制整備と、統一的な指揮下での効率的な部隊運用、計画的な署所配置や高機能消防指令システムの更新整備などにより、消防体制の基盤強化を行うとともに、救命率の向上及び、社会復帰を目的とし、継続的な心肺蘇生法（AEDを含む。）を主眼とした救命講習を実施する。また、地域防災力向上のために圏域住民、消防団、事業所、自治体と連携し消防訓練等を実施する。		
事業	12 北はりま消防組合運営事業	掲載ページ	42ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
普通救命講習及び救命入門コースの受講者数 【単年度】	目標		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	人
	実績	2,072	2,045					
	達成率		102.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
消防訓練等の指導回数 【単年度】	目標		120	120	120	120	120	件
	実績	119	130					
	達成率		108.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○:ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △:目標を下回った（達成率84.9%以下） ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	－	－	－	－	156
	内訳	救命講習用資料印刷48,400円、修了証印刷83,160円、普及啓発用品代24,200円				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	救命講習等受講者数、消防訓練等の指導回数ともに目標値を上回り、救命入門コースの受講者は、100名以上増加し、消防訓練等の参加人員についても1,000名以上増加している。
	連携効果	（観点①②③より）応急手当普及員講習会を北播磨地域合同で行い、各市町と連携した応急手当普及啓発が図れた。また、高機能消防指令センターの部分更新事業が完了し、消防団員等に向け、より正確な災害情報発信を行えるようになった。
	次年度への課題と予定	全国的に大規模林野火災が増加傾向にあり、これまで以上に圏域の防災機関、事業所、住民との連携が必要のため、消防訓練等より地域防災力の強化を図る。また、住民による心肺蘇生の実施により社会復帰に大きく寄与した事例もあった。継続的に救命講習を実施し、救命率の向上を目指す。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	生活	施策	多様性理解の啓発
事業目的	性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性を啓発し、圏域全体の理解を促進することで、性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性に寛容な社会を形成する。		
事業概要	多様性理解の促進を図るために、効果的な啓発方法の調査・研究や情報共有を行う合同研究会を圏域市町職員間において行った上で、圏域全体での理解を更に深めるために、圏域住民を対象としたセミナーや講演会等の共同事業を実施する。		
事業	13 性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性啓発推進事業	掲載ページ	43ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R6)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
合同研究会や共同事業の開催回数 【単年度】	目標		1	1	2	2	2	回
	実績	-	1					
	達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○:ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △:目標を下回った（達成率84.9%以下） ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳					

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	性的指向・ジェンダーアイデンティティへの理解を深め、関連する課題やとるべき施策について学ぶため、先進取組市へ視察に赴き、担当課から取り組みの経緯や制度等についての合同研修会を行った。
	連携効果	（観点①より）各市町単独では対応が難しかった視察も、4市町合同での取り組みであったことから十分な時間を取って開催することができた。
	次年度への課題と予定	パートナーシップ制度等の周知や性的指向・ジェンダーアイデンティティの市民への啓発方法について、引き続き合同研修会で検討する。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	生活	施策	住民相談窓口の相互利用等
事業目的	相談機能の強化や相談体制の充実、消費者教育や啓発活動等の連携により、圏域住民の利便性の向上と消費者被害の未然防止及び拡大防止につなげ、圏域住民の消費生活の安定を図る。		
事業概要	圏域住民の利便性の向上を図るとともに、消費者被害に対して迅速で適切に対応するため、相談窓口の相互連携を推進し、相談機能の強化と相談体制の充実を図る。また、消費者被害の未然防止及び拡大防止を図るため、圏域市町の連携を強化し、地域資源や人材等を活かした消費者教育や啓発活動等を効率的かつ効果的に推進する。		
事業	14 消費者行政推進事業	掲載ページ	44ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
消費生活相談の年間利用件数 【単年度】	目標		800	820	840	860	880	件
	実績	768	833					
	達成率		104.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳					

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	各市町で消費生活相談機能の向上に努めるため、市職員及び相談員が積極的に研修へ参加した。また、消費者トラブルの未然防止を図るため、広報やケーブルテレビ、ホームページ、SNS等で啓発を行った。
	連携効果	(観点②より)市町連携により相談体制を整備、維持することができた。各市町で消費者教育や啓発活動等の実施や、相談員の研修会参加を継続し、相談員の知識向上による相談機能を強化することで、圏域住民の利便性の向上と消費者被害の未然防止及び拡大防止につなげることができた。
	次年度への課題と予定	複雑化する相談内容に対応するため、今後も積極的に研修に参加し、知識の向上に努めるとともに、引き続き、消費者教育や啓発活動等に取り組む。また、相談窓口の利便性向上を図るため、相互連携による相談体制の充実に取り組む。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	生活	施策	健康事業等の広域連携
事業目的	健康事業等の広域連携により、圏域住民全体に『健幸』=健康で幸せ（身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安全・安心で豊かな生活を送れること）という意識が醸成し、地域活性化につなげる。		
事業概要	高齢化や人口減少が進む中、圏域住民が「健幸」であるためには、圏域各市町で行っている健康事業等の広域連携（健康・健幸ポイントの連携など）を図り、「健幸」な圏域づくりに取り組む。		
事業	15 「健幸」推進事業	掲載ページ	45ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
2つ以上の自治体が連携した健康づくり事業数 【累計】	目標		2	2	3	3	3	事業
	実績	2	2					
	達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○:ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △:目標を下回った（達成率84.9%以下） ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳	市町既存の事業を活用した連携内容のため、事業費は発生していない。				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	・オクトーバー・ラン＆ウォークにおける連携では、令和7年度から新たに西脇市が自治体参加し、3市1町での共同参加体制となった。 ・市町ポイント事業において、令和2年度から加西市、多可町がアプリを共同利用し、事業運営において相互連携を図っている。また、令和7年度は、加西市、西脇市、多可町で市町ポイント事業におけるイベント連携を行った。
	連携効果	（観点②より）3市1町が「オクトーバー・ラン＆ウォーク」へ共同参加することで、圏域全体の健康づくりの機運を高め、住民の健康増進を活性化することができる。 （観点①より）ポイント事業において連携することで、イベント等、事業内容の充実を図ることができる。
	次年度への課題と予定	オクトーバー・ラン＆ウォークの共同参加とポイント事業における連携の継続を予定。課題は、共同イベント開催などの新規連携の検討と実施。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	地域公共交通	施策	地域公共交通の広域連携
事業目的	圏域内が公共交通機関で結ばれ、移動に係る利便性が向上することにより、生活機能を充足し、圏域内での定住を促進する。また、利便性向上に向けた取組や利用促進施策を共同で実施することにより、圏域住民及び来訪者の公共交通利用者の増加を図り、鉄道や路線バス等の既存路線の再編と維持につなげる。		
事業概要	圏域内にある主要施設への交通手段を確保するために、既存路線の再編・維持を目指し、交通事業者等と協議を行う。また、公共交通と自転車の併用など、利便性向上に向けた取組や利用促進施策について調査・研究を行う。		
事業	16 公共交通広域連携調査・研究事業	掲載ページ	46ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
路線バス（圏域内国・県補助対象路線）の系統数 【単年度】	目標		7	7	7	7	7	系統
	実績	7(R6)	7					
	達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
鉄道（JR加古川線・北条鉄道）の年間利用人数 【単年度】	目標		980	990	1,000	1,010	1,020	千人
	実績	961(R5)	1,017					
	達成率		103.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎：目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○：ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △：目標を下回った（達成率84.9%以下） ×：未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳					

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	担当者会議を開催し、各市町における既存路線バスの維持確保に向けた取組や市町が運営する公共交通などについて情報共有を行った。 また、圏域住民の移動利便性向上に向け、夜間移動需要に対応する広域連携型ライドシェアの導入可能性について意見交換を実施した。
	連携効果	(観点①より)担当者会議の機会を設けることで、各市町固有の課題と圏域で共通する課題を精査し、現状を深く共有することができた。これにより、単独自治体での検討では見えにくかった広域的な移動ニーズが明確化され、圏域全体でリソースを最適化する重要性を再確認した。
	次年度への課題と予定	より実効性の高い移動支援策の構築を目指すため、夜間の移動需要への対応について先行事例を視察し、その実態や有効性を調査・研究する。 併せて、圏域で取り組める利用促進施策への検討も進める。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	ICTインフラの整備	施策	自治体情報システムの効率化
事業目的	技術動向を早期に多く収集し、情報共有することで、新しい技術の導入を促進することを目指す。		
事業概要	新しいICTの情報を共有し、ICTの活用による業務の効率化や新しいサービスの提供の可能性について調査・研究する。		
事業	17 ICT活用調査・研究事業	掲載ページ	48ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
ICTの調査研究会の年間開催回数 【単年度】	目標		1	1	1	1	1	回
	実績	1	1					
	達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○:ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △:目標を下回った（達成率84.9%以下） ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳	費用は発生していない。				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）	
	②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）	
	③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）	
R7	取組実績	令和8年3月19日14:00～オンラインにて開催。 各市町の取組状況や課題について情報交換等を行った。特に生成AIの活用状況やデジタル人材育成についての現状を共有した。
	連携効果	（観点③より）他市町の状況を把握することで、お互いの課題や連携して取り組める分野などが明らかになった。
	次年度への課題と予定	デジタル人材の育成が共通の課題であり、加東市が実施する育成プログラムに他市町も参加する形でICT活用による業務の効率化を実現できる人材を共同で育成する方針を確認した。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	交通インフラの整備	施策	広域幹線道路の整備促進
事業目的	圏域における安全・安心な道路交通体系を形成し、圏域内外の交流や連携が活発になるとともに、圏域住民の交通の利便性、安全性の向上を図る。		
事業概要	圏域市町間を結ぶ、国道 1 7 5 号、国道 3 7 2 号、主要地方道多可北条線、一般県道高岡北条線を連携強化路線とし、未改良区間や歩道未整備区間の整備について連携して要望することで、安全・安心な交通を確保するとともに、圏域住民の利便性の向上を図る。		
事業	18 広域幹線道路整備推進事業		掲載ページ 49ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R6)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
年間要望活動回数 【単年度】	目標		1	1	1	1	1	回
	実績	1	1					
	達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
県職員との維持管理要望箇所の立会い回数 【単年度】	目標		1	1	1	1	1	回
	実績	1	1					
	達成率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎：目標を超える成果があった（達成率115.1%以上） ○：ほぼ目標を達成した（達成率85.0%～115.0%） △：目標を下回った（達成率84.9%以下） ×：未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額（千円）	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳					

事業の取組状況		
連携効果の 振り返り観点		①広域連携の強みの発揮（各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか）
		②圏域住民・関係者への効果（住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか）
		③連携の機能・発展（連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか）
R7	取組実績	県に対して、連携強化路線の維持管理が優先的に実施されるよう、要望を行った。
	連携効果	（観点①より）他の路線においては路面清掃等の維持管理が先送りになっている一方で、連携強化路線については優先的に実施された。
	次年度への 課題と予定	限られた予算の中で連携強化路線の維持管理が優先的に実施されるよう、引き続き、圏域市町で連携して県に要望を行っていく。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	地域内外の住民との交流・移住促進	施策	観光資源の開発
事業目的	圏域に来訪者が増えることで、消費拡大による経済の活性化につなげる。また、周辺観光施設等と連携した取組を行うことで、観光施設の活性化を図る。		
事業概要	自然や歴史文化、伝統産業等の多様な地域資源の活用や連携、観光関連施設の管理運営、新たな地域資源の発掘により、周遊性を高めた圏域における観光ルートを形成するとともに、圏域外への出展等による観光情報の効果的な発信により、圏域への誘客活動に取り組み、交流人口の拡大による圏域の活性化を図る。		
事業	19 地域観光情報発信・誘客活動事業	掲載ページ	50ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
観光客動態調査による年間入込客数 【単年度】	目標		645	649	653	657	661	万人
	実績	641	662					
	達成率		102.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			○					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	250	250	250	250	1,000
	内訳	新緑スタンプラリー 306,618円 おでかけパンフレット作成 409,200円 インフルエンサー活用 679,540円 その他雑費 4,180円				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	新緑スタンプラリー 応募者275人 おでかけパンフレット作成5,000部
	連携効果	(観点①より)1~2か月に1度会議を行い、事業を計画的に進めることができた。 結果として入込数は662万人。実績で目標値を上回った。
	次年度への課題と予定	引き続き、目標を超えられるよう、圏域の市町で連携し交流人口の拡大を図る。 また、圏域ならではの事業を継続して行い、観光名物として確立できるように図る。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	地域内外の住民との交流・移住促進	施策	移住定住の促進
事業目的	圏域市町が相互に連携し、出会いの機会の提供や圏域市町での暮らしの魅力に関する情報発信を行うことで、圏域内の婚姻数の確保や移住定住の促進を図る。		
事業概要	圏域内で結婚を希望する方に対し、各市町主催の出会いの機会創出イベントの周知を相互連携して行うとともに、都市部で開催される移住促進イベントに出展し、圏域内の自然環境や子育て環境、各種支援金などの情報を発信する。		
事業	20 移住定住促進事業	掲載ページ	51ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
出会いの機会創出イベント参加者数	目標		170	180	185	190	195	人
	実績	219	357					
	【単年度】達成率		210.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
都市部における移住促進イベント相談件数	目標		90	90	95	95	95	件
	実績	9	79					
	【単年度】達成率		87.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			◎					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	143	238	278	225	884
	内訳	出張旅費、物品郵送料、イベント出展料				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	・各市町施設等において出会いの機会創出イベントのチラシを配架し、相互連携による周知を行った。 ・大阪・東京(計3回)で開催された移住促進イベントに同時出展し、圏域市町の情報発信を一体的に行った。
	連携効果	(観点①より)・市町単独でのイベントの広報活動に比べ、より広範囲で周知をすることができ、また、出会いの機会創出に対する圏域全体の機運醸成につながった。 (観点②より)・移住促進イベント時の担当者間の一体感も醸成され、PRの相乗効果が得られた。
	次年度への課題と予定	・各市町での個別移住相談時間が長く市町間を連続しての相談にはつながらなかったため、各市町の相談内で他市町の情報発信ができるよう工夫する。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	圏域マネジメント能力の強化		
政策	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	施策	人材の育成及び確保
事業目的	圏域全体の職員力の底上げや圏域市町間における職員の連携強化を目指す。		
事業概要	圏域市町職員の職務能力、資質及び公務能率の向上を図るため、職種別又は担当課レベルでの専門研修や圏域内における同一課題に対応するための合同研修を実施する。		
事業	21 人材育成事業	掲載ページ	52ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R6)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
職員合同研修等の年間参加人数 【単年度】	目標		50	50	50	50	50	人
	実績	38	40					
	達成率		80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			△					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	46	254	30	18	348
	内訳	自治体法務検定(60千円)、手話研修(46千円)、MBTI研修(242千円)				

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	R7.11.21自治体法務検定(政策法務)10名参加、R7.11.19手話研修(初級)18名参加、R8.1.27MBTI研修12名参加
	連携効果	(観点②より)圏域市町職員の交流を深めつつ、職員の職務能力の向上が図られた。
	次年度への課題と予定	同様の研修を継続して実施予定。 目標値の参加者確保に努める。

第3次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業 事業管理シート
(令和7年度評価)

事業内容			
分野	圏域マネジメント能力の強化		
政策	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	施策	人材の育成及び確保
事業目的	圏域の自立と持続可能な成長をけん引する人材を育成・確保することで、圏域の政策課題について円滑な解決を図る。		
事業概要	職員の能力及び資質向上を図るため、圏域市町における実務者レベルでの意見交換会を行う。また、圏域市町における共通した行政課題について、先進的・効果的な取組事例の共有・検討を行うため、職員の相互交流による派遣研修を行う。		
事業	22 人事交流事業	掲載ページ	53ページ

指標の達成状況・評価								
指標①	区分	基準値(R5)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	単位
相互交流による派遣研修参加者数	目標		4	4	4	4	4	人
	実績	2	6					
	【単年度】達成率		150.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標の評価			◎					
評価基準		◎:目標を超える成果があった(達成率115.1%以上) ○:ほぼ目標を達成した(達成率85.0%~115.0%) △:目標を下回った(達成率84.9%以下) ×:未実施 ※指標が2つある場合は平均値で判定。いずれか1つが84.9%以下の場合は△とする。						

事業費						
負担額(千円)	市町別	加西市	加東市	西脇市	多可町	合計
	R7	0	0	0	0	0
	内訳					

事業の取組状況		
連携効果の振り返り観点	①広域連携の強みの発揮(各市町での単独実施より、コストや専門性などに違いが生まれているか)	
	②圏域住民・関係者への効果(住民の暮らしや関係者の業務にどのような効果が届いているか)	
	③連携の機能・発展(連携の内容や質は、前年度と比べてどう変化したか)	
R7	取組実績	人事交流事業を実施し、6名の職員が圏域市町の職場で研修を行った。
	連携効果	(観点①②より)圏域市町の先進事例を学ぶ機会を通じ、職員の職務能力向上が図れたとともに、市町間における職員同士の交流にも繋がった。
	次年度への課題と予定	毎年同じような研修メニューが続いているため、新たな研修メニューを創出する必要がある。

令和8年度 北播磨広域定住自立圏ビジョン懇談会 部会分け

参考資料

分野	政策	施策	事業	関連する団体
生活機能の強化	医療	医療体制の確保	1病病・病診連携事業	●市立加西病院 ●兵庫県立加東こども家庭センター
			2播磨内陸医務事業組合運営事業	
		医療連携の強化	3地域医療連携室連携強化事業	
	福祉	子育て支援の充実	4児童虐待防止事業	
			5子育て支援事業	
		権利擁護・成年後見事務の効率化及び体制強化	6権利擁護・成年後見利用促進連携事業	
	教育	文化・スポーツの振興	7図書館相互利用推進事業	●兵庫教育大学 ●スポーツ推進委員連絡協議会
			8文化・スポーツ交流活動及び施設相互利用推進事業	
		質の高い教育環境の整備	9兵庫教育大学との連携講座事業	
	産業振興	創業支援の推進	10創業支援連携事業	●加東商工会 ●加西商工会議所青年部
	防災	広域防災体制の整備強化	11広域防災対応能力強化事業	●加西市区長会 ※ ●加東市区長会 ●西脇市連合区長会 ※ ●多可町区長会
			12北はりま消防組合運営事業	
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	地域公共交通の広域連携	16公共交通広域連携調査・研究事業	●神姫バス株式会社
		ICTインフラの整備	17 ICT活用調査・研究事業	
	交通インフラの整備	広域幹線道路の整備促進	18広域幹線道路整備推進事業	
		観光資源の開発	19地域観光情報発信・誘客活動事業	●加東市観光協会
圏域マネジメント能力の強化	地域内外の住民との交流・移住促進	人材の育成及び確保	20移住定住促進事業	
			21人材育成事業	
	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保		22人事交流事業	



第1部会 (301)	委員	●市立加西病院 ●兵庫県立加東こども家庭センター ●兵庫教育大学 ●スポーツ推進委員連絡協議会 ●加西市区長会 ※ ●西脇市連合区長会 ※ ※ 印の団体は、関連する政策分野（左表）と参加する部会が異なりますのでご注意ください。 6名・11事業
	事務局	加西市
	オブザーバー	西脇市・北播磨県民局



第2部会 (201)	委員	●加東商工会 ●加西商工会議所青年部 ●神姫バス株式会社 ●加東市観光協会 ●加東市区長会 ●多可町区長会 ●学識経験者 7名・11事業
	事務局	加東市
	オブザーバー	多可町・市町振興課